

令和 7 年度幼児に関する歯科保健行動調査結果の概要

1 調査の目的

幼児における歯と口腔の健康状況を把握し、「第 3 期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」（計画期間：令和 6 年度～令和 17 年度）の進捗状況を評価するもの。

2 実施主体

宮城県

3 調査時期

令和 7 年 7 月～12 月

4 調査対象

令和 7 年 7 月から 12 月までの間に 3 歳児健康診査を受診した保護者

5 調査方法

県から市町村へ調査票を送付。市町村は 3 歳児健診のお知らせ送付又は健診時に保護者等へ調査票を配布して記入を依頼し、健診当日に回収。市町村から県へ回収した調査票を送付。

6 調査結果

(1) 協力人数（率）について

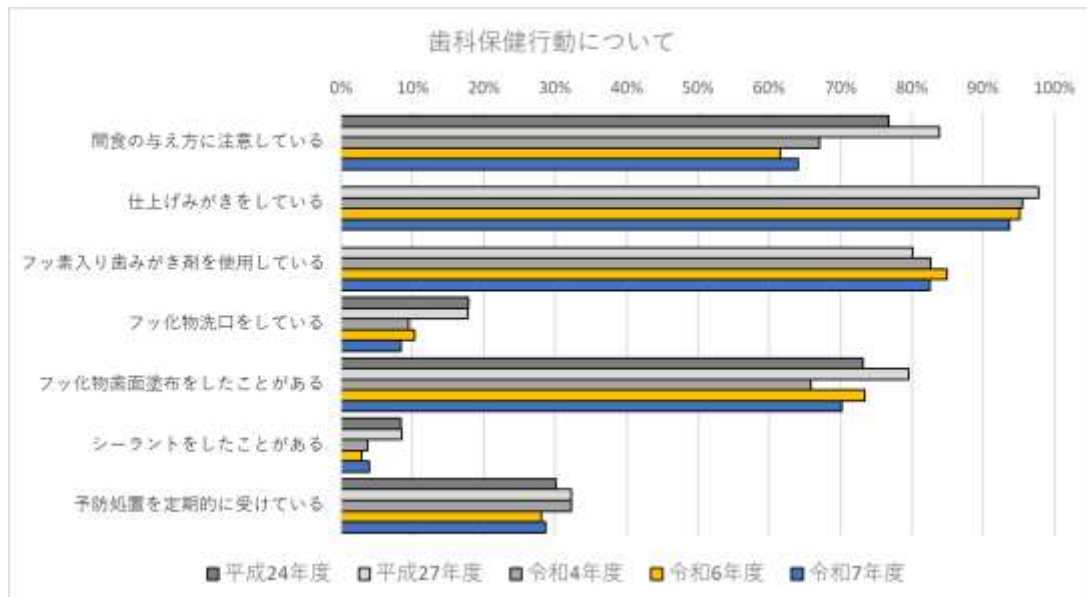
対象者数は 874 人、そのうち回答者数は 782 人で、協力率は 89.5%であった。

（前回（令和 6 年度）調査：協力率 86.5%）

(2) 歯科保健行動について

歯科保健行動の実施状況は下記のとおり。

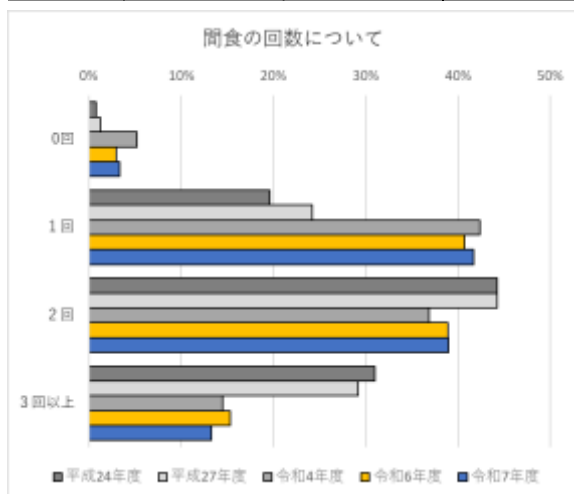
項目	平成24年度	平成27年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度
間食の与え方に注意している（決められた時間に食べる、遊びながら食べない、夜歯をみがいた後には食べない等）	76.8%	83.8%	67.1%	61.6%	64.1%
保護者（大人）による歯みがき（仕上げみがき）をしている	－	97.7%	95.6%	95.1%	93.7%
歯みがきの時に、フッ素入り歯みがき剤を使用している	－	80.1%	82.7%	84.9%	82.5%
フッ化物溶液（フッ化物洗口液）でブクブクうがいをしている	17.9%	17.8%	9.5%	10.3%	8.4%
今までに一度でも、歯にフッ素を塗布（フッ化物歯面塗布）したことがある	73.2%	79.5%	65.9%	73.5%	70.2%
シーラント（予防充填）をしたことがある	8.4%	8.5%	3.8%	2.8%	4.0%
かかりつけ歯科医院で、フッ素塗布やシーラントなどの予防処置を定期的に受けている	30.1%	32.2%	32.2%	28.1%	28.6%



(3) 間食の回数について

3回以上間食しているのは13.3%であり、前回調査から減少した。

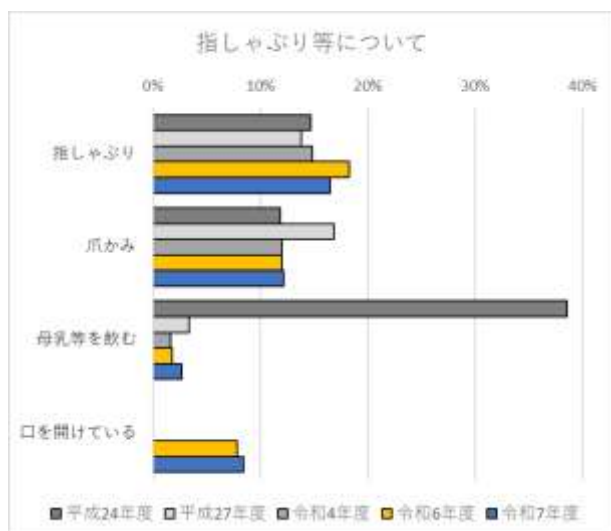
間食の回数	平成24年度	平成27年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度
0回	0.8%	1.2%	5.2%	3.0%	3.3%
1回	19.6%	24.2%	42.4%	40.7%	41.7%
2回	44.2%	44.2%	36.9%	38.9%	39.0%
3回以上	31.0%	29.2%	14.5%	15.3%	13.3%



(4) 指しゃぶり等について

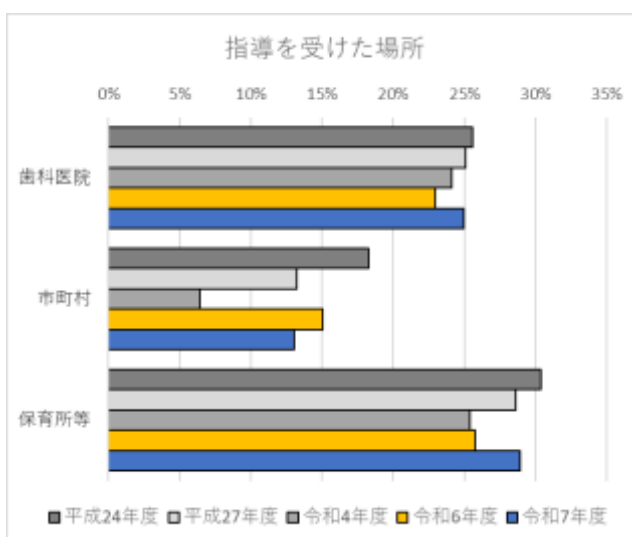
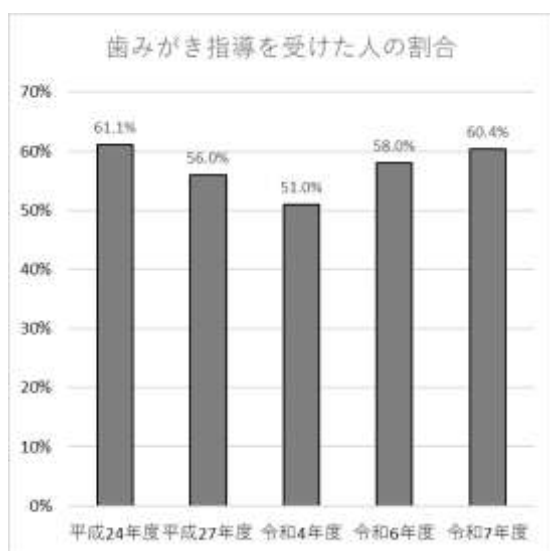
「指しゃぶりをする」は減少した一方、その他の項目は増加した。

項目	平成24年度	平成27年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度
指しゃぶりをする	14.7%	13.8%	14.8%	18.3%	16.5%
爪かみをする	11.8%	16.9%	12.1%	12.0%	12.1%
母乳や哺乳瓶を使用したミルク等を飲んでいる	38.5%	3.4%	1.7%	1.8%	2.7%
いつもお口をぽかんと開けている	-	-	-	7.9%	8.4%



(5) 歯みがき指導等について

歯みがき指導を受けた割合は 60.4% で、前回調査の 58.0% から増加した。指導を受けた場所は、「歯科医院」、「保育所等」の割合が増加した。



(参考) むし歯の有病者率及び1人当たりのむし歯本数について

調査対象者の結果を集計したところ、むし歯の有病者率及び1人当たりのむし歯本数は下記のとおりとなった。いずれも令和6年度より減少した。

	平成24年度	平成27年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度
有病者率 (%)	30.6%	26.4%	11.3%	10.7%	8.6%
1人当たりのむし歯本数 (本)	1.32	1.05	0.34	0.32	0.29

